



wakamaruくん オイルバクターを紹介

(株)森本組は、ケイエルプラント(株)と共同出展。コミュニケーションロボット「wakamaruくん」(三菱重工業

と脂肪酸に加水分解し、最終的に生物分解で、二酸化炭素と水に分解する。

㈱開発)を使って、排水処理施設「オイルバクターシステム」を紹介した。人目を引く存在感と、話しかけると応えてくれる「wakamaruくん」の愛嬌(きょう)が来場者の関心を呼び、多数の来場者で賑わった。

オイルバクター菌が油脂分を酵素分解することで、悪臭成分を抑制。汚泥も発生しないため、加圧浮上装置や脱水設備も必要ない。運転管理もいらないので、凝集剤や汚泥処分費なども含め、ランニングコストを大幅に軽減する。朝隈正雄環境営業部長は

同社は、油脂分解用に開発

「現在使っている処理システムを一部変更する形での対応

された特殊微生物・オイルバクターで、油脂分を含有する廃水処理に効果を発揮するシステムをアピール。現在、主流となっている活性汚泥法と異なり、油脂分をクリセリン

も可能で、現状の課題にに応じて提案できる」と話し、ブースを訪れた人から、廃水処理の相談を受ける姿がみられた。